



1 松山への新しい人の流れをつくる 「心ひかれるまちづくり」プロジェクト

① 将来のイメージ

松山市は、コンパクトシティとしての都会の便利さがあしながら、歴史や文化を今に伝え、豊かな自然に囲まれた田舎の穏やかさが調和するまちとして、様々なメディアをとおして国内外に知られています。

さらに、「俳句甲子園」をはじめとする松山独自の「ことば」文化を生かしたイベントの全国展開により、「俳句のまち」「文学のまち」として、松山をイメージする人が増えています。

また、松山外環状道路の整備などで交通利便性が向上したことや、スポーツ施設や開催支援などの受入体制が充実していることから、プロ、アマチュアを問わず、スポーツチームのキャンプ地や合宿場所としての評判が高まり、大規模なスポーツイベントも定期的に行われるようになっていきます。

そして、「JR松山駅」周辺では、県都の陸の玄関口としての整備が進み、民間との連携により再開発が進む中心市街地では、市民はもちろん、観光やビジネスで松山を訪れる人や、スポーツイベントの参加者や観客など、食事や買い物を楽しむ大勢の人でにぎわっています。

まちが発展していく中でも、環境モデル都市として、エネルギーを貯めて賢く使う先駆的な取り組みが着実に広がり、ごみの排出量が少なく環境にやさしいスマートシティ*としても知られています。

こうした様々な魅力をもった松山の暮らしに興味をもつ人や、「いつかは地元に戻りたい」と考えている松山出身の人たちに対し、住まいや仕事、子育て、福祉など、総合的な相談・受入体制が充実していることから、実際に移住やUターンで松山暮らしを始める人も増えています。

② 主な取り組み

- シティプロモーションの推進
- ことば文化の内外発信
- スポーティングシティまつやまの推進
- JR松山駅周辺整備
- 交通ネットワークの強化
- 中心市街地のにぎわいづくり
- 環境モデル都市の推進
- 移住促進や移住者の受入環境整備

③ 将来のひとコマ

「じゃあ改めて、松山での不思議な『縁』に乾杯！」

JR松山駅のあのお洒落なレストランで、松山さん夫婦と食事をしているのは、5年前にここで隣り合わせた東京のご夫婦・・・ではなく、その娘さんの東さんご夫婦です。

「両親が松山をととても気に入っていたので、最初は誘われて来たんですけど、私たちのほうがハマってしまっ。移住の決断は早かったですね。市役所の相談窓口が手厚くサポートしてくれましたから。まあ、最初は、まさか住むことになるなんて思ってもいませんでしたけど。」と京子さんが笑うと、「この店も、初めて松山に来たときに妻の両親が連れてきてくれた、思い出の店なんです。『ここでとても素敵なお夫婦と意気投合してね』と嬉しそうに話してくれましたよ。このライムの入ったお酒をたくさん飲みながらね。」と夫の都男さんも笑います。

「松山に来られた3年前と比べても、この辺はさらににぎやかになったでしょう。」と愛子さんが言うと、京子さんも、「そうですね。この辺りだけじゃなくて、松山市駅のほうや商店街も、どんどん人通りが増えてるんじゃないかな。でも、のんびりした地域もあるし、都会と田舎の絶妙なバランスが、松山の魅力ですよね。」と言います。「それだけじゃなくて、まちが発展しながらも、ちゃんと環境を守る取り組みも進めていて、全国から注目されているのも、すごいよね！」と都男さんが続けます。

「東京にいたとき、テレビや雑誌で不思議と松山の情報をよく目にして。そうそう『暖暖松山』がお気に入り、あれを片手に松山のまちを歩き回ったなあ。北条にも中島にも行ったし。あと、私、昔女子野球やって、全国大会に出場するために、マドンナスタジアムによく来ていました。スポーツ観戦も大好きで、最近はお媛FCにハマっています。松山では、色んなスポーツイベントが開催されるので友達の間でも有名でしたよ。」一気にしゃべった京子さんが、少しお酒に口をつけてから、「そういえば、都男さんも昔から松山には来たかったのよね。」と意味ありげに言うと、都男さんが少し照れながらポツリと「実は僕、正岡子規が大好きで、生まれ育った地に興味があつたんです。俳句ポストを見るたびに投函してるんですよ。いつも選外ですけど。」と言ったので、松山さんと愛子さんは声をそろえて、「都男さん、見かけによらず、文学青年なんだ！」とびっくりしました。

「じゃあ、次はお媛FCのJ1昇格と、都男さんの入選を祈って乾杯！」愛子さんの音頭で、松山さん夫婦と東さん夫婦は、今日5回目の乾杯をしました。



2 元気な産業とやりがい十分な仕事がつくる 「成長するまちづくり」プロジェクト

① 将来のイメージ

産業立地のための用地の確保、物流や人の移動に必要な交通基盤の整備など、事業活動がしやすい環境整備がさらに進むことで、既存企業の事業規模拡大や、市外企業の新しい事業所が立地するなど、活発な経済活動が行われています。

また、新しいビジネスのアイデアをもとに、起業を志す人が増え、その多くが事業を軌道に乗せるとともに、既存産業も販路の拡大や新たな事業への進出が増えています。さらに、地元の元気な企業が長く経営を継続するための事業承継がスムーズに行われるなど、安定した経済基盤の発展につながっています。

こうした事業活動が活発になる中で、業務の効率化や省力化が推進され、企業の生産性が向上するとともに、若い人たちの市内就職促進や女性の就職支援、高齢者の雇用対策などが進み、人手の確保と雇用の創出につながっています。

農林水産業では、新規就農者への支援などで人材の確保・育成が進むとともに、担い手への農地集積が拡大するなど、経営基盤が安定する中で、まつやま農林水産物ブランド*の販路や消費はますます拡大し、有望品種への転換や高品質化が着実に進んでおり、しっかりとした収益が確保されています。

さらに、営業しながら保存修理を行う道後温泉本館や別館 あすかのゆ 飛鳥乃湯泉、松山城をはじめとした様々な観光資源の活用や、広域観光ルートの商品化により、多くの観光客が松山を訪れています。

また、海外の観光客に対する受入体制の整備が進み、新たな視点からのプロモーションにより、これまで注目されていなかった場所が外国人の興味を引くなど、観光スポットがさらに増加し、国の内外を問わず多くの観光客が松山の様々な場所や食べ物を楽しんでいます。

② 主な取り組み

- 企業誘致活動と立地環境整備の推進
- 企業の創業・成長・事業承継支援
- 企業の人手不足解消の促進
- 若年者や女性、高齢者が働き続けられる環境づくりの推進
- もう儲かる農林水産業の推進
- 戦略的観光振興の推進
- 外国人の誘客促進

③ 将来のひとコマ

ライム入りのお酒を片手に、松山さん夫婦と東さん夫婦の話はまだまだ続いています。

愛子さんが、「京子さん、お仕事はどうなん？」と尋ねました。「それにしても、家事代行サービスやっただけ。一人で起業するなんて、すごいよね！」

「前からアイデアは温めていたんですが、移住をきっかけに、『そうだ、松山でアイデアを実現しよう!』と思ったんです。起業なんて初めてだし、結構大変かなあと感じていましたが、これも市役所に相談してみたら、いろいろとサポートしてくれて、スムーズに始められました。」と京子さんが言いました。

「家事代行サービスって、松山でも需要はあるん？」と松山さんが尋ねると、京子さんは、「共働き世帯や高齢者だけの世帯が増えていて、『ちょっと手伝ってほしい』という需要が割とあるんです。だから、仕事は増えていますね。おかげさまで、自分だけでは手が足りなくなったので、去年、市のマッチング支援を利用して、社員を二人採用しました。現場に行く人たちは、今のところパートタイマーですが、働き方のニーズも多様化しているので、都合のいいときに短時間だけ働くのがちょうどいい、という人たちが来てくれています。」と答えます。

松山さんが「都男さんは今、『かんきつ』のコンサルタントをしとるんやっけ？」と尋ねると、「そうです。ブランドかんきつは、特に外国人観光客のお土産として人気に火が付いてから、海外でも大人気ですね。生産量も安定しているので、今は輸出の相談が増えています。コンサルタントとしては、嬉しい悲鳴です。」と都男さんが答えます。愛子さんも、「水産加工品も、いろいろと新製品が出とるけんね。うちの弟も開発に携わったひじきの加工品は、松山空港のお土産で、売上げナンバーワンになっとるらしいけん。」と付け加えます。

「それにしても、工事中の道後温泉本館に入浴できるとは思わなかったよ。修理の様子もワクワクしたな。」と、都男さんが目を輝かせて言います。「漱石も入った温泉が、未来につながっていくなんて、ほんとにすごいことだよ。」いつになく興奮している都男さんに、「私も松山は色んなところを見たけど、まだまだ観光スポットがいっぱいあって、東京の友達に勧めるのに1泊じゃ全然足りないくらい。」と、京子さんが続けました。

「そういえば笑太は、外国人観光客に話しかけては、英語で道案内しとるんよ。今は、スマホさえあれば道に迷うことはないけど、海外の人らも、地元の人と触れ合うのが楽しいみたいやね。」と松山さんが言うと、京子さんと都男さんが同時に、「そういうお接待のところが、松山の一番の魅力やけんね。」と声をそろえたので、松山さん夫婦もつられて笑いました。

